

平成26年1月9日開催

厚生常任委員会資料【委員協議会】

中郷ひばり荘の在り方について	...	1
中郷区地域協議会からの意見書（写）	...	2

所管委員会	厚生常任委員協議会
提出課	高齢者支援課

中郷ひばり荘の在り方について

1 中郷ひばり荘の現状

- ・平成 23 年 10 月に策定した「公の施設の再配置計画」において、日帰り温浴施設は評価の結果にかかわらず、民間等へ譲渡が可能な施設については、譲渡を進めることとしている。
- ・中郷ひばり荘の改築については、「健康増進施設整備事業(ひばり荘)」として中郷区の地域事業に登載しており、平成 26 年度までに施設の在り方の方針を決定することとしていた。
- ・今年度当初に、現指定管理者が自主事業を展開することに向け、自ら改修を行う予定としていたが、アスベスト含有建材の使用が判明したため工事を見送ったところであり、この間、市の責任において浮遊検査を実施し、利用者等に支障が及ばないよう適正な施設管理に努めている。
- ・こうしたことを踏まえ、中郷ひばり荘の今後の在り方について市で検討を重ねてきた。

2 施設概要等

所在地	上越市中郷区江口 1003 番地 1
建築年月日	昭和 49 年 5 月 4 日 (築 40 年経過)
構造	鉄筋コンクリート造ルーフィング板葺平屋建(一部 2 階建)
面積	延べ床 812.08 m ² 敷地 6,645.52 m ²
設備概要	浴場(男女別)、大広間(85 畳・ステージ)、和室(3 室)、図書室、軽運動室等
管理形態 / 管理者	指定管理 平成 25 年度・26 年度 (株)メディカル&ケア(上越市)



中郷ひばり荘

3 アスベスト含有建材の確認について

(1) アスベスト含有が確認された箇所

確認された箇所	材質	判明の経緯
ポーチ軒天	吹付け材	市が外部機関に委託した調査により判明
下足室	P タイル	
図書室天井	吹付け材	改修予定業者が外部機関に委託した調査により判明

ポーチ軒天は、平成 16 年度にアスベスト含有建材(吹付け材)の上から再塗装処理を行っており、アスベストは封じ込まれている状態。

(2) 浮遊検査の結果

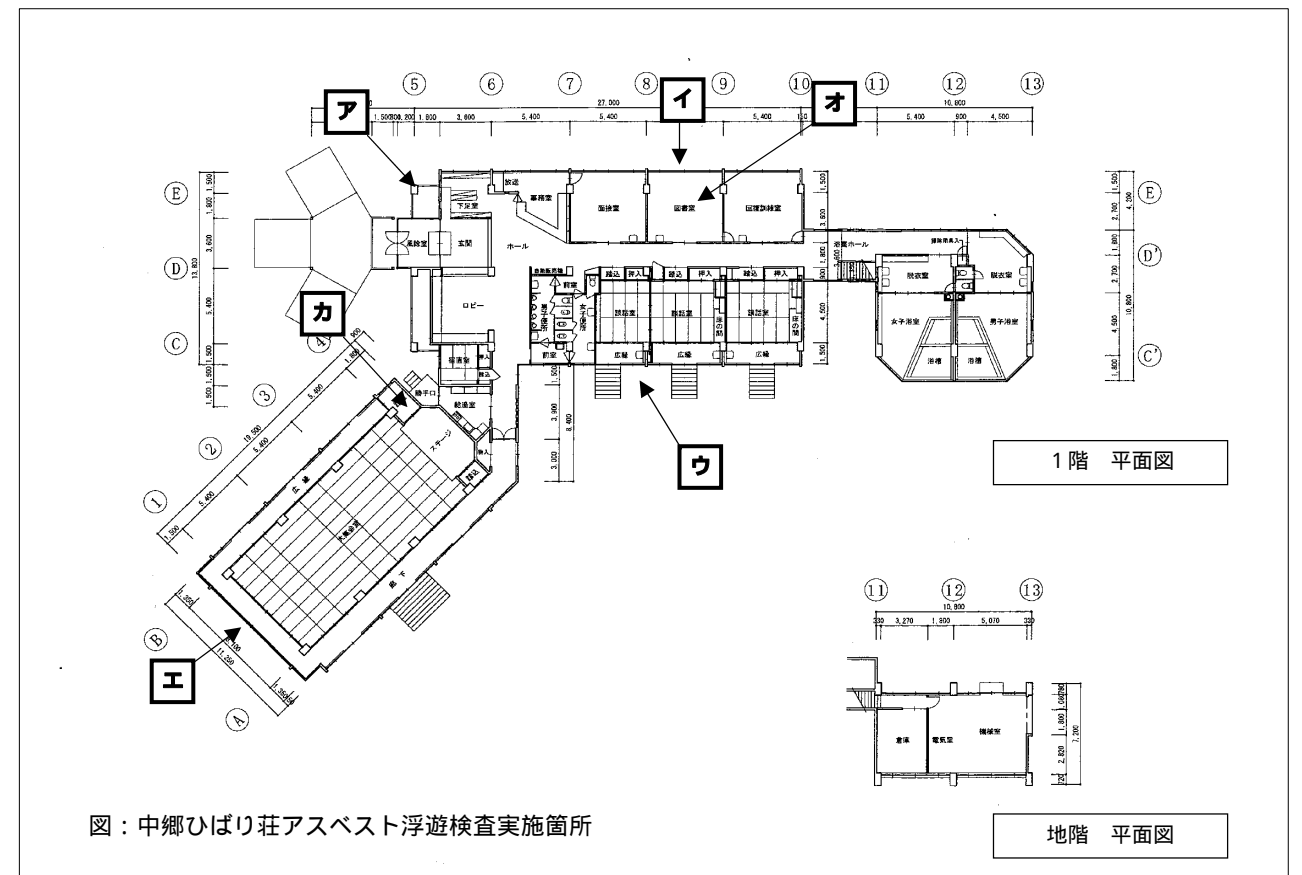
含有建材の使用の判明を受け、3 月、6 月、9 月、12 月の計 4 回、外部機関による浮遊検査を行った結果、調査地点における繊維数濃度が健康への悪影響が及ぶとされる基準値以下であったことから、現状のまま営業を継続している。

なお、含有建材の箇所及び浮遊検査の結果については、上越保健所に報告済みである。

【検査結果】検査機関：一般財団法人上越環境科学センター

区分	名称	検査結果(単位：本/ℓ)			
		H25.3.7	H25.6.17	H25.9.13	H25.12.16
ア	外部 正面玄関前	0.6	-	-	-
イ	外部 主棟東側	0.5	-	-	-
ウ	外部 主棟西側	0.6	-	-	-
エ	外部 大集会室棟奥	0.3	-	-	-
オ	内部 図書室	4.0	0.7	0.5	0.7
カ	内部 大広間	3.1	0.5	0.5 未満	0.5 未満

大気汚染防止法施行規則第 16 条第 2 項に基づく大気中の石綿濃度(10 本/ℓ)



4 今後の施設の在り方等について

- ・中郷ひばり荘の改築が中郷区の「地域事業」として登載されていることに鑑み、また、「公の施設の再配置計画」における基本的な考え方を踏まえ、機能存続の手法として「民設民営」の形態を原則とする。
- ・民間事業者による施設整備に当たっては、地域事業である中郷ひばり荘の機能を継続することを条件に、一定の補助金交付を前提として事業者を公募する。
- ・こうした方針について地域協議会を始めとする地域住民に説明し了解を得た上で、現指定管理者との協議により指定管理期間を本年度限りとし、それに合わせて公の施設としての供用を廃止する。

平成25年4月10日

上越市長 村山 秀幸 様

中郷区地域協議会

会長 岡田 豊

「中郷ひばり荘」に関する意見書

市長におかれましては、市民の安全と安心な暮らしの確保に日々ご尽力をいただき深く感謝申し上げます。さて、当地域協議会では昨年からの住民との意見交換を進める中で、中郷ひばり荘の改築について自主審議し意見を取りまとめましたので意見書として提出します。

記

1 松ヶ峯温泉「ひばり荘」の歴史的経緯について

この温泉は、古来より現在の源泉付近に湧出していた「湯の沢の湯」を近隣住民が利用してきたことに始まります。温泉でこの地を開発することは、明治以来、住民の悲願で昭和33年に中郷区協議会に請願されました。昭和34年から井戸の掘削が開始され、翌35年に温泉の自噴を見て以来、松ヶ峯観光の中心的役割を果たしてきました。

高度経済成長の時代から、将来の高齢化社会が予想されていたので、昭和46年に村議会で「老人医療福祉」が議決され、同年に松ヶ峯温泉に「老人憩いの家」が開設されました。その後、昭和49年に頸南1市2町2村の老人福祉センターとして「ひばり荘」が開設され、広く上越地方全体の高齢者の人たちに社交・入湯・機能回復の場として活用されてきました。

2 「ひばり荘」の存続を求める住民の声

当協議会は昨年3月から町内会長連絡会議を始め、住民との意見交換会を9回、200人以上の方が参加され、その中でも「ひばり荘」の存続・改築を強く求める意見が多く寄せられました。

3 自主審議結果等を踏まえた存続・改築要望

平成23年10月に市の「公の施設の再配置計画」が示されて以来、当協議会では住民との意見交換をはじめとして、「ひばり荘」について自主審議を進めてまいりました。その結果、次の観点から「ひばり荘」の存続・改築を求める結果となりました。

- (1) 松ヶ峯観光の中心として永い歴史があり、現在は上越市の南の玄関口である。
- (2) 老人福祉及び地域住民の憩いの場として定着し活用されており、存続を求める声が非常に強い。また、平成23年4月から住民ボランティア団体が体操や健康講座、レクリエーションなど、ひばり荘で年間約1600人以上の人たちを対象に介護予防を目的とした活動を行っている。
- (3) 「ひばり荘」存続に向けて、まちづくり振興会をはじめ、地域住民が利用促進を図ってきた。
- (4) 施設は昭和49年建設で老朽化しており、耐震診断を実施していないため、現行基準に合致しているかは不明である。利用者からは、洗い場の増設と給湯能力の改善、洋式トイレの設置、食堂の開設のほか、改修・改築を求める声が多くある。また、存続に民間活力を求めるにも、採算が望める施設にする必要がある。
- (5) 当区は合併時から「ひばり荘の改築」を地域事業に登載し、民間活力の採用や他の地域事業の支出を極力抑えてきた。また、「ひばり荘」の改築など、区内の福祉・教育事業等に充てられる特定財源を積み立ててきた。

このような状況下、当協議会にとって「ひばり荘の存続・改築」は、最重要課題です。さらに、中郷区町内会長連絡会議やまちづくり振興会、商工会なども存続・改築を強く要望していますので、ご理解を賜り、賢明なご判断をいただきたくお願い申し上げます。



自治・地域振興課